

道徳だより 第4学年

グッド*ハー Good Heart

木津川市立棚倉小学校 平成29年9月28日

本校では、道徳教育を重点的に研究しています。このお便りでは、各学年で取り組んでいる取組や授業の様子をお知らせしていきます。学校での子どもたちの様子を知ってもらおうと共に、お家での話題のきっかけにもらえたらと思います。

「祭り日」

体育大会が目前に近づいてきました。4年生では、体育科の学習でソーラン節を完成させるために練習に励んでいます。今回の道徳の学習では「心を重ねる」ことについて考えました。

「わたしたち」の学校では、音楽発表会で「祭り日」の発表をするという伝統がある。2週間にわたる個人練習の後、初めて全体練習を行うも、なかなか上手くいかない。そんなことがあった帰り道、「みんなの音が重なり合うように気を付ける」というヒントを得ると、みんなの演奏が良い方向へと変わるのだった。「重なり合うように」を意識することで、みんなの音が自然と聞こえてくるようになり、みんなの音が重なるだけでなく、みんなの心まで重なるように感じられ嬉しく感じるのだった。というお話です。

一人ひとりが頑張るのは大切なことですが、演奏や演技で大切なのは、動きや音が合っているかどうかです。体育大会に向けて練習する中で、相手を思いやる場面や協調性が必要になる場面は多くなります。この学習を通して、「心を重ねる」ということの大切さに気付かせたいと考えました。



○1回目の練習はどんな気持ちで練習していただろう。

- ・全体で合わせると上手くいかないな。
- ・くやしいな。
- ・やる気はあるのにな。



○2回目の練習で、上手になったのはどうしてだろう。

- ・音と心が重なったから。
- ・みんなの気持ちが一つになったから。
- ・一人じゃだめだから。

○心を重ねるために、大切なことは何だろう。

- ・友だちと同じ目標を持つこと。
- ・友だちを思いやること。
- ・みんなのことを考えること。



<児童の感想より>

私が考えたことは、グループで一つのめあてにまとめれば、みんなでやる競技は上手くいくのだということです。一人ではなく、みんなであることを第一に考えて心を重ねたいです。

ソーラン節で気持ちを一つにし、前の人に合わせることを気を付けて「祭り日」というお話と同じように、気持ちを合わせたいと思います。

ソーラン節を成功させるために、今日習った「心を重ねる」ことをがんばりたいです。全員が合わせることに努力して、練習するといいと思いました。

今日の勉強で、ソーラン節でも何でも、みんなが一つの同じ目標を持っていたらいいと思います。みんながみんなを意識すればいいと思います。